

<b>基本目標</b>	<b>2</b>	<b>学ぶ力と豊かな心を育むまち</b>	<b>担当部署</b>	教育部
-------------	----------	----------------------	-------------	-----

<b>基本目標の方針</b>	<p>子どもたち一人ひとりが、主体性・創造性を持ち、それぞれの能力や個性を生かしながら、将来を担う人材となるよう、本町の文化や人材など、地域資源を活用した特色のある教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となった取組を進めます。</p> <p>また、性別や年齢に関わらず、あらゆる人がいきいきと暮らしていけるよう、人権を尊重するための取組や、青少年を健全に育成するための環境づくりを進めます。</p> <p>さらに、生涯を通じて、学び続け、充実した生活を送ることができるよう学習機会を提供するとともに、伝統文化や芸術、スポーツ、地域活動にふれる機会を設けることで、豊かな心を育むまちづくりを進めます。</p>
----------------	---

<b>重点戦略(KGI共通)</b>	重点戦略1 豊かな人づくり	重点戦略3 協働の地域づくり
--------------------	---------------	----------------

<b>基本目標2の構成</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;"><b>基本目標 2</b></td> <td style="background-color: #f28b82; color: white;"><b>学ぶ力と豊かな心を育むまち</b></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 1 学校教育の推進</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 2 生涯学習の振興</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 3 文化・芸術の振興</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 4 スポーツの振興</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 5 人権が尊重された社会づくり</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 6 青少年健全育成</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f28b82; color: white;">└───┐</td> <td>基本施策 7 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進</td> </tr> </table>	<b>基本目標 2</b>	<b>学ぶ力と豊かな心を育むまち</b>	└───┐	基本施策 1 学校教育の推進	└───┐	基本施策 2 生涯学習の振興	└───┐	基本施策 3 文化・芸術の振興	└───┐	基本施策 4 スポーツの振興	└───┐	基本施策 5 人権が尊重された社会づくり	└───┐	基本施策 6 青少年健全育成	└───┐	基本施策 7 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進
<b>基本目標 2</b>	<b>学ぶ力と豊かな心を育むまち</b>																
└───┐	基本施策 1 学校教育の推進																
└───┐	基本施策 2 生涯学習の振興																
└───┐	基本施策 3 文化・芸術の振興																
└───┐	基本施策 4 スポーツの振興																
└───┐	基本施策 5 人権が尊重された社会づくり																
└───┐	基本施策 6 青少年健全育成																
└───┐	基本施策 7 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進																

重点目標達成指標(KGI)										
重点戦略区分	指標名	現状値	実績値					目標値	達成率	担当課
			R1	R3	R4	R5	R6			
1	学校教育の充実の満足度(%)	31.9	/					40.0	0.0%	教育総務課
3	生涯学習・スポーツ活動の支援の満足度(%)	37.3	/					44.0	0.0%	教育総務課

基本施策の取組状況										
まちづくり指標(KPI)										
指標No.	指標名	現状値	実績値					目標値	進捗率	担当課
			R1	R3	R4	R5	R6			
2-1-①	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(小)(%)	82.3	80.9	0.0	0.0	0.0	0.0	83.0	0.0%	教育総務課
2-1-②	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(中)(%)	71.0	79.5	0.0	0.0	0.0	0.0	73.0	100.0%	教育総務課
2-2-①	「くまどく」達成率(%)	74.7	67.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0%	教育総務課
2-2-②	「くまどく」達成率(小)(%)	88.1	59.3	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	0.0%	教育総務課
2-2-③	「くまどく」達成率(中)(%)	61.2	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	100.0%	教育総務課
2-2-④	図書館の人口1人当たり貸出冊数(冊)	6.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0%	教育総務課
2-3-①	文化イベントの開催数(回)	3	0	0	0	0	0	6	0.0%	教育総務課
2-4-①	総合型地域スポーツクラブ(筆の里スポーツクラブ)会員数(人)	912	783	0	0	0	0	950	0.0%	教育総務課
2-4-②	体育館等スポーツ施設の利用者数(人)	153,693	70,628	0	0	0	0	170,000	0.0%	教育総務課
2-5-①	人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数(人)	486	115	0	0	0	0	600	0.0%	生活環境課
2-5-②	審議会などにおける女性委員等の比率(%)	26.3	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	100.0%	生活環境課
2-6-①	スポーツ少年団の団体数(団体)	13	13	0	0	0	0	13	0.0%	教育総務課
2-7-①	多文化共生・国際交流イベントの実施数(回)	1	1	0	0	0	0	3	0.0%	産業観光課、生活環境課

基本目標達成状況報告書【基本目標2】

具体的施策(実施事業)の取組状況												
基本施策区分	事業数	評価					今後の方向性					決算額(千円)
		A	B	C	D	E	拡充	現状継続	改善継続	縮小	完了・廃止	
1	15	12	3	0	0	0	1	14	0	0	0	476,921
2	7	3	1	3	0	0	1	3	3	0	0	7,702
3	11	2	8	1	0	0	2	2	7	0	0	310,896
4	5	2	3	0	0	0	0	5	0	0	0	5,542
5	7	6	1	0	0	0	0	7	0	0	0	3,764
6	6	0	4	2	0	0	0	3	3	0	0	1,587
7	6	2	4	0	0	0	0	5	1	0	0	16,320
基本施策の分析・評価・課題、今後の取組方針												
1	学校教育の推進			進捗状況区分	B	S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『幼保小中連携教育の推進』では、町内の保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校の教諭等が参加する幼保小中教育推進協議会を通じた研修会を充実させ、接続カリキュラムを改善した。</p> <p>○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、ICTを活用した授業支援として、町内小中学校の全教室に大型の電子黒板を配置や、GIGAスクール・サポーターを配置することにより、ICT教育環境を充実させた。また、各種相談員や支援員等を各校に配置や、し、教職員が授業作りに専念でき、児童生徒と関われる時間の確保につながった。</p> <p>○『地域における学校支援の充実』では、学校運営協議会を小中学校6校でそれぞれ年3回開催し、地域と学校が連携して、地域と学校の協働について協議すると共に、コミュニティ・スクールの仕組みを活用した。</p> <p>○『ふるさと教育の推進』では、小学校1・2年生で行う低学年書道科授業を実施した。また、各小中学校において防災学習に取り組んだ。</p> <p>○『学校施設の整備』では、老朽化した小中学校の施設維持のため、屋根防水改修等を行い、児童生徒の学びの環境を整備した。</p>											
課題	<p>○『幼保小中連携教育の推進』では子供の育ちや学びを共通の視点でみることや、学校の特色を生かしてきていないことに課題がみられる。</p> <p>○『地域における学校支援の充実』では、地域との協働が少ないため、地域と学校の協働を充実させる必要がある。</p> <p>○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、学校教育の中でICT機器を効果的に使用するために、ICT活用協議会の活用や、GIGAスクール・サポーターの継続配置などの支援の充実が必要である。また、各種相談員や支援員を配置しているが、支援が必要な児童生徒の対応や職員の業務量が増加しており、適応指導教室では、利用状況が低調であるため、適応指導教室の活動内容の充実や相談体制を充実させる必要がある。</p> <p>○『学校施設の整備』では、学校施設が老朽化し、修繕工事を要する箇所が年々増加している。</p>											
今後の取組方針	<p>○『幼保小中連携教育の推進』では研修による教員の指導力向上を図り、幼保小中高という縦の接続をスムーズにするとともに、町内各施設の横の連携の強化に取り組む。</p> <p>○『適正な学校配置の検討』では、学校規模の適正化について、今後も関係課で検討を継続していく。</p> <p>○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、「GIGAスクール構想」の推進に向け、今後も学校でのICT活用環境の充実を目指し、時代に対応した教育体制の強化を図る。また、各種相談員、支援員等の配属を今後も継続し、生徒指導体制や学校支援体制の充実を図る。</p> <p>○『ふるさと教育の推進』では、地域と学校の特色を生かし、学習環境づくり等において連携を強化していく。</p> <p>○『地域における学校支援の充実』では、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域人材の参画を促進し、地域の特色を生かした学習を推進する。</p> <p>○『学校施設の整備』については、老朽化した学校施設について、学校施設長寿化計画に基づき、計画的な修繕・改修・改築工事を行っている。</p>											
2	生涯学習の振興			進捗状況区分	B	S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『生涯学習の活性化』では、くまどくノートの仕様変更を行い、より本に親しむことができるよう取り組んだ。しかしながら、KPIである「くまどく達成率」について、小学生は目標値をやや下回っているものの、中学生では目標値を超えている。</p> <p>○コロナ禍においても各公民館施設で親子のふれあいを深める事業や講座を実施した。</p>											
課題	<p>○『生涯学習の活性化』では、くまどく事業について、学校間での取組に濃淡が見受けられることから、校長会や学校図書連絡協議会等での事業周知徹底を行う必要がある。</p> <p>○各公民館施設での講座等においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により参加者が減少しているため、より多くの参加者を集める講座等を検討する必要がある。</p>											
今後の取組方針	<p>○各小中学校等と連携してくまどく事業を実施するとともに、くまどくフォーラムと定住人口拡大にも資するイベントとの連携融合によるイベントの開催など、町民の読書推進に関する取組について研究を進める。</p> <p>○各公民館施設の講座等については、開催方法や周知方法、講座等の企画を充実させることにより、新規参加者の増加に努める。</p>											
3	文化・芸術の振興			進捗状況区分	B	S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の影響から、各種イベントが中止となった。</p> <p>○『芸術文化の振興』では、安田女子大学と包括連携協定を締結し、筆文化の普及や、次世代への継承に関することをテーマとして、連携を進めることとした。</p>											
課題	<p>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、実施方法の検討を行う必要がある。</p> <p>○『文化活動の推進』に関し、町のみでの継続的・包括的な事業実施は業務負担や波及効果に限界があるため、地域人材を巻き込む仕組みが必要である。</p>											
今後の取組方針	<p>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、実施方法を検討していく。</p> <p>○『文化活動の推進』では、官民一体となって熊野町の活性化を図るため、多方面で地域人材が活躍できる仕組みを検討する。</p>											

基本目標達成状況報告書【基本目標2】

4	スポーツの振興	進捗状況 区分	B	S: 順調に進捗している A: 概ね順調に進捗している B: 一定の進捗がある C: 進捗に遅れがある D: 進捗に大幅な遅れがある
分析・ 評価	○ NPO法人熊野健康スポーツ振興会、体育協会、筆の里スポーツクラブへ補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図り、体力づくりや健康づくりを推進したが、コロナ禍により会員数が減少しており、また、町民体育大会、熊野駅伝大会、スター駅伝大会が中止となった。 ○ スポーツ・レクリエーション施設の整備として、町民グラウンドの音響設備を修繕し、施設環境の維持充実に取り組んだ。			
課題	○ 町民の高齢化、個人のコロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響から、KPIである「筆の里スポーツクラブ会員数」が減少している状況を踏まえ、参加者募集のPR方法など見直しを検討する必要がある。			
今後の 取組方針	○ 多くの町民が集い開催する大会については、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する必要があるが、NPO法人熊野健康スポーツ振興会と密に連携を図りつつ、世代に関係なく楽しめるスポーツの普及活動の研究を進める。 ○ 本町の短・中長期的なスポーツ振興を推進するため、「スポーツ振興計画」の策定を検討する。			
5	人権が尊重された社会づくり	進捗状況 区分	A	S: 順調に進捗している A: 概ね順調に進捗している B: 一定の進捗がある C: 進捗に遅れがある D: 進捗に大幅な遅れがある
分析・ 評価	○ 公民館施設では小規模な人権講座を開催したものの、新型コロナウイルスの影響により人権に関する講演会は開催できなかったため、KPIである「人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数」は激減している。 ○ 男女共同参画社会の推進については、令和7年度までを計画期間とする「熊野町男女共同参画プラン(第三期)」を策定した。また、庁舎内(職員)においては、育休中の職員へ復職時の支援制度の周知を実施するなど子育てしやすい環境整備に取り組んでいる中、男性職員の育休取得率は20%と高い比率となった。			
課題	○ 人権に関する講演会や講座については、コロナ禍でも開催できるように、開催方法の検討が必要。 ○ 女性委員の比率が目標値を超過しているものの、これは審議会等の委員の母数自体が激減していることが要因となっている。			
今後の 取組方針	○ 人権尊重や人権思想を幅広く普及させるために、人権に関するイベントについて開催方法や周知の方法を検討し、コロナ禍においても多くの人にイベントへ参加してもらうよう取り組む。 ○ 令和7年度までを計画期間とする「熊野町男女共同参画プラン(第三期)」に基づき、引き続き男女共同参画プランのPDCAサイクルを実施し、点検・評価を行い、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策に取り組む。			
6	青少年健全育成	進捗状況 区分	B	S: 順調に進捗している A: 概ね順調に進捗している B: 一定の進捗がある C: 進捗に遅れがある D: 進捗に大幅な遅れがある
分析・ 評価	○ 健全育成の推進では、各公民館施設で小学生を対象とした講座等を開催した。 ○ 青少年活動の推進では、スポーツ少年団に補助金を交付し、活動を支援し、スポーツを通じた青少年健全育成に取り組み、KPIである「スポーツ少年団の団体数」は目標率を達成している。 ○ 成人を祝う会については、延期した令和3年成人を祝う会を令和3年5月2日に実施した。なお、令和4年1月9日開催予定の令和4年成人を祝う会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が延期された。(令和4年5月1日に実施)			
課題	○ 各公民館施設での講座においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加者数が減少している。 ○ 小・中学生の人口が減少している状況も踏まえ、スポーツ少年団加入PR方法の見直しを検討する必要がある。			
今後の 取組方針	○ 各公民館施設の講座等については、開催方法や周知方法、講座等の企画を充実させることにより、新規参加者の増加に努める。 ○ スポーツ少年団加入PR方法の見直しを検討しつつ、その指導者の養成も喫緊の課題と捉え、スポーツ推進委員協議会とも連携し取り組んでいくための研究を進める。			
7	地域間交流・多文化共生・国際理解の推進	進捗状況 区分	B	S: 順調に進捗している A: 概ね順調に進捗している B: 一定の進捗がある C: 進捗に遅れがある D: 進捗に大幅な遅れがある
分析・ 評価	○ 『多世代交流・国際理解の推進』、『地域活動への参画支援』では、新型コロナウイルス感染症の影響により不特定多数が参加するイベントは開催できなかったが、実施企画を工夫し、広島県地域通訳案内士に対する研修会としてイベント開催を実施した。これによりKPIである「イベント実施数」も前年度同水準を維持した。			
課題	○ 『多世代交流・国際理解の推進』、『地域活動への参画支援』では、今後も、新型コロナウイルス感染症や別の感染症等の影響を受ける懸念がある。そのため、中止ではなく縮小や開催方法・企画の変更によりKPIである「イベント実施数」が目標を達成できるよう検討する必要がある。			
今後の 取組方針	○ 『多世代交流・国際理解の推進』では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催方法・企画の工夫を行い、外国人に熊野町の文化などを伝える機会を設けるため、県や大学等との連携により、国際交流の機会を創出する。 ○ また、外国人相談窓口に関する周知を強化し、外国人の方がより安心して生活できる環境整備に取り組む。			

KGIの達成状況や基本施策の取組状況を踏まえた基本目標達成状況の分析・評価・課題	
基本目標達成の進捗状況区分	基本目標達成の進捗状況に係る分析・評価・課題
<p>S 順調に進捗している                      A 概ね順調に進捗している                      B 一定の進捗がある                      C 進捗に遅れがある                      D 進捗に大幅な遅れがある</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p>	<p><b>【分析・評価】</b></p> <p>○『学校教育の推進』では、まちづくり指標(KPI)『「授業が分かる」と回答した児童生徒の割合』が小学校では80.9%、中学校では79.5%となっており、小学校では目標値に達していないが、小中学校とも約8割の水準を維持している。アンケート調査の対象となる児童生徒は毎年度変わってくるが、KPIの目標値である小学校83.0%、中学校73.0%を目指し、重点目標達成指標(KGI)の達成につなげる。</p> <p>○『生涯学習の振興』では、まちづくり指標(KPI)に『「くまどく」達成率』、『図書館の人口1人当たり貸出冊数』を掲げ、「くまどく」ノートの仕様変更を実施するなど、より本に親しむことができるよう取り組んだ。「くまどく」達成率は、小学生は目標値を下回ったものの、中学生では目標値を超えた。図書館の貸出冊数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による臨時休館措置の影響もあり、貸出冊数は減少した。</p> <p>○『スポーツの振興』では、スポーツ・レクリエーション施設の整備として、町民グラウンドの音響設備を修繕し、施設環境の維持充実に取り組み、NPO法人熊野健康スポーツ振興会、体育協会、筆の里スポーツクラブへ補助金を交付し、生涯スポーツの振興、体力づくりや健康づくりを推進したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け会員数が減少した。また、感染防止対策のため町民体育大会、熊野駅伝大会、スター駅伝大会が中止となり、スポーツに親しむ活動が制限された。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、学校教育の中でICT機器を効果的に使用するために、ICT活用推進協議会の充実やGIGAスクール・サポーターの継続配置などの支援の充実が必要である。</p> <p>また、相談員や支援員を各学校に配置しているが、支援が必要な児童生徒への対応等、職員の業務量が増加している。支援が必要な児童生徒への対応として設置している適応指導教室は利用状況が低調であるため、適応指導教室の活動内容の充実や相談体制を充実させる必要がある。</p> <p>○『学校施設の整備』では、学校施設が老朽化し、修繕工事を要する箇所が年々増加している。</p> <p>○町民の高齢化、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響から、まちづくり指標(KPI)である「筆の里スポーツクラブ会員数」、「体育館等スポーツ施設の利用者数」が減少している状況を踏まえ、参加者募集のPR方法など見直しを検討する必要がある。</p>

基本目標達成の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針
<p>○『学校教育の推進』では、町立小中学校6校が連携し、教職員の研修等の実施による授業改善を行うことにより、まちづくり指標(KPI)である『「授業が分かる」と回答した児童生徒の割合』を増やすとともに、ICT機器の整備等の教育環境の整備を図ることにより、重点目標達成指標(KGI)である「学校教育の充実の満足度」の目標達成を目指す。</p> <p>○『生涯学習・スポーツの振興』では、読書活動の推進等により生涯学習の活性化を図るとともに、スポーツ・レクリエーション施設の維持管理、NPO法人熊野健康スポーツ振興会、体育協会との連携、筆の里スポーツクラブへの支援を図り、重点目標達成指標(KGI)である「生涯学習・スポーツ活動の支援の満足度」の目標達成を目指す。</p>

基本目標	2	基本施策	1	学校教育の推進
------	---	------	---	---------

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課 教育総務課 (関係課)建設課
基本施策区分	基本施策1 学校教育の推進	
SDGs区分	  	

具体的施策		<Plan>
2-1-1	幼保小中連携教育の推進	<p>◎幼稚園・保育所、小学校、中学校の連携を強化し、幼保小中教育推進協議会を通じた研修会の充実などにより、幼保小中連携教育を推進するとともに、今後も接続カリキュラム(アプローチ・カリキュラム及びスタート・カリキュラム)の研究に取り組んでいきます。</p>
2-1-2	適正な学校配置の検討	<p>◎児童生徒数の動向に対応し、適正な教育環境を確保していくため、必要に応じて小中学校の適正規模及び適正配置について検討します。</p>
2-1-3	学校教育体制の充実	<p>◎校長を中心に、組織として機能し、柔軟で機動力のある学校運営体制の確立を図ります。  ◎多様な教育課題や学校課題に対し、校長をはじめとするすべての職員が子どもたちのことを第一に考えた適切な指導や行動をとれるよう、研修等を通じた資質の向上を図ります。  ◎GIGAスクール構想に基づき、デジタル技術を積極的に活用することで、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや理解度に応じた教育体制の強化を図ります。  ◎GIGAスクール構想の実現により、基礎学力の向上を図るとともに、Society5.0やグローバル化など新たな時代に対応した柔軟な発想のできる子どもの育成につなげます。  ◎時代の急速な変化に対応した教育体制を構築するため、デジタル機器等の活用により、教育の充実、学習機会の保障及び教職員の働き方改革に努めます。  ◎各種の学力調査を計画的かつ継続的に実施し、児童生徒の学力実態を的確に把握することで、より実効的な授業改善を行います。  ◎職業に関する知識を身につけ、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を育てるキャリア教育を推進します。  ◎学校図書館に学校司書を配置するとともに快適な読書環境を整え、学習及び読書活動の充実を図ります。  ◎学校給食(デリバリー方式)に地産地消を取り入れ、食育を継続して実施し、充実を図ります。  ◎課題発見・解決型の学習の充実など、子どもたちの主体的な学びの創造につながる取組を推進します。</p>
2-1-4	地域における学校支援の充実	<p>◎「地域とともにある学校づくり」に向けて、コミュニティ・スクールの仕組みを活用することで、学校運営協議会を中心とした地域と学校との連携により、小中学校における学校行事等の支援や地域の特色を生かした体験活動など、地域住民の多様な学校支援を促進します。</p>
2-1-5	ふるさと教育の推進	<p>◎小学校1・2年生で行う低学年書道授業の実施や小学校中学年での筆づくり体験など、地域の特色を生かした学習を推進します。  ◎地域の歴史・文化の継承、農業・ボランティア体験など、地域ならではの魅力の伝播や創意工夫した地域学習を推進します。</p>
2-1-6	健やかに学ぶ環境の整備	<p>◎障害のある児童生徒に対する適切な教育支援を行うとともに、個に応じた教育や教育環境の充実に努めます。  ◎命や性のあり方を理解し、社会のルールを守る心豊かな児童生徒を育成するよう、発達段階に応じた人権教育や道徳教育の充実に努めます。  ◎不登校等に対応するため、適応指導教室など児童生徒が相談できる場を確保するとともに、スクールソーシャルワーカーや教育支援員を配置するなど、教育相談体制を充実します。  ◎いじめや不登校について、地域や学校の実情に沿った取組を実施できるよう、コミュニティ・スクールでの問題提起など学校と地域全体で取り組める体制づくりについて検討します。  ◎デジタル機器を活用し、個別最適化した教育の充実を図るとともに、オンライン授業を活用した学習の機会を確保します。</p>
2-1-7	学校施設の整備	<p>◎学校施設の老朽化に対応するため、学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の状況や将来的な需要の見通しを踏まえ、効率的・効果的な事業方法を選択するとともに、予防保全的な維持管理と計画的な修繕や改修、改築に努めます。</p>
2-1-8	安全対策の強化	<p>◎児童生徒の学校内外における安全確保のため、学校安全教育を進めます。  ◎児童生徒が安全に通学できるよう、交通安全に配慮した通学環境の確保及び学校、地域が一体となった登下校時の見守り体制の充実を図ります。</p>

まちづくり指標(KPI) <Do>			指標					進捗率	担当課	
指標No.	指標名	実績値	現状値	R3	R4	R5	R6			R7
2-1-①	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(小) (%)	実績値 82.3 目標値 82.3	82.3	80.9				83.0	0.0%	教育総務課
2-1-②	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(中) (%)	実績値 71.0 目標値 71.0	71.0	79.5				73.0	100.0%	教育総務課
2-1-①	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(小) (%)		2-1-② 「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合(中) (%)							
【進捗状況及び増減要因】			【進捗状況及び増減要因】							
国語科においては、「よくわかる」と回答した児童がR2と比較して増加しており、対話活動を取り入れた授業改善の成果がみられる。一方で算数科において、「わかる」と回答した児童が減少しており、基礎的・基本的な内容の定着が必要である。 ・R2:国語科83.0% 算数科86.7% 全体84.9% ・R3:国語科82.1% 算数科79.6% 全体80.9%			数学科において、「よくわかる」と回答した生徒が増加しており、対話活動を取り入れた授業改善が内容理解に役立っている。国語科においても対話や表現を重視した授業改善が有効であった。 ・R2:国語科87.6% 数学科66.8% 全体77.2% ・R3:国語科82.7% 数学科76.2% 全体79.5%							

具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>			決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果					
2-1-1	幼保小中連携教育の推進	町内の保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校の教諭等が参加する幼保小中教育推進協議会を通じた研修会の充実ができた。接続カリキュラムを改善した。	-	A	【課題】 子供の育ちや学びを共通の視点でみる。 【取組方針】 研修による教員の指導力向上を図り、幼保小中高という縦の接続をスムーズにするとともに、町内各施設の横の連携の強化に取り組む。	現状継続	教育総務課
事業目的		子どもたちの成長を幼保小中高という縦の連続性で見て接続をスムーズにするとともに、町内各施設の横の連携を図る。					
2-1-2	学校規模の適正化検討	将来的な児童生徒数の減少期における適正な教育環境の確保のため、関係課(教育総務課、政策企画課、財務課、都市整備課)で協議を行った。	-	B	【課題】 適正な教育環境の確保に向け、あらゆる視点からの協議が必要。 【取組方針】 今後も庁内関係課で検討を継続する。	現状継続	教育総務課
事業目的		適正な学校配置を検討し、将来的な児童生徒数の減少期における適正な教育環境の確保する。					
2-1-3	学校支援事業(生徒指導相談員、学校支援員等の配置)	各種相談員、支援員等を各校に配置することにより、教職員が授業作りへの専念、児童生徒と関わる時間の確保につながった。	18,239	A	【課題】 支援が必要な児童等への対応や教職員の業務量の増加 【取組方針】 今後も配置を継続していく。	現状継続	教育総務課
事業目的		各種相談員の配置により、生徒指導体制や学習支援体制の充実を図り、学力の向上に取り組む。					
2-1-3	ICTを活用した授業支援	・全教室に大型の電子黒板を配置し、授業の効果的な授業展開を図り、学習の個別最適化を図るICT教育環境を整備 ・GIGAスクールサポーターを配置 ・授業支援ソフト(オクリンク)を令和4年度の本格導入に向けて、試験的に導入	62,990	A	【課題】 ・町内6校の教員によるICT活用協議会の充実 ・ICT機器の使い方を習得するためにGIGAスクールサポーターの継続配置。 【取組方針】 今後も学校でのICT活用環境の充実を図り、コロナ禍における学習機会の確保や新たな時代に対応した教育体制の強化を図る。	現状継続	教育総務課
事業目的		GIGAスクール構想による学習用端末の活用、オンラインを活用した授業等の充実により、一人一人の理解度に応じた教育体制を整備するとともに、新たな時代に対応した柔軟な発想のできる人材の育成につなげる。					
2-1-3	学校図書館の司書配置	小中学校に司書を配置し、児童生徒の読書環境を整備するとともに読書啓発を行った。	6,430	A	【課題】 ・小学校での勤務日数・時間の確保 ・図書管理に効率的な図書システムの導入 【取組方針】 司書配置の適正化を図り、読書環境の充実に取り組む。	現状継続	教育総務課
事業目的		町図書館との連携を行い、児童生徒の読書環境の整備と読書啓発を行う。					

2-1-3	学校給食事業	・デリバリー方式による学校給食を実施 ・熊野町の特産である黒豆ごはんの提供や、日本の伝統行事等を意識した特別デザート、いりこ給食を実施し、食育の推進を図った。(特別デザート:小学校3回、中学校1回) 喫食率:小学校77.7%、中学校73.8%	127,958	A	【課題】 ・喫食率の向上 ・温かい給食の提供など、配膳状況の改善  【取組方針】 学校給食の提供方式を、現行のデリバリー方式だけでなく、食缶方式等を検討していく。	現状継続	教育総務課
	事業目的	学校給食法に基づく学校給食の提供により、児童・生徒の心身の健全な発達を図り、学校における食育を推進する。					
2-1-4	地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)	コミュニティ・スクールの仕組みを活用し学校の教育活動を充実させた。学校運営協議会を小中学校6校でそれぞれ年3回開催し、地域と学校が連携して、地域と学校の協働について協議した。	240	B	【課題】 学校の特色を生かしてきていない。  【取組方針】 地域と学校の特色を生かし、学習環境づくり等において連携を強化していく。	現状継続	教育総務課
	事業目的	学校運営協議会を中心として地域と学校が連携し、地域と学校の協働を充実させる。					
2-1-5	ふるさと教育の推進	小学校1・2年生で行う低学年書道科授業を実施した。各小中学校において防災学習に取り組んだ。地域と学校の協働を充実させる。	5,844	B	【課題】 地域との協働が少ない。  【取組方針】 コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域人材の参画を促進し、地域の特色を生かした学習を推進する。	拡充	教育総務課
	事業目的	総合的な学習の時間や特別の教科道徳を中心に、全ての教育活動においてふるさと教育を推進する。					
2-1-6	ICTを活用した授業支援【再掲】	・全教室に大型の電子黒板を配置し、授業の効果的な授業展開を図り、学習の個別最適化を図るICT教育環境を整備 ・GIGAスクールサポーターを配置 ・授業支援ソフト(オクリンク)を令和4年度の本格導入に向けて、試験的に導入	62,990	A	【課題】 ・町内6校の教員によるICT活用協議会の充実 ・ICT機器の使い方を習得するためにGIGAスクールサポーターの継続配置。  【取組方針】 今後も学校でのICT活用環境の充実を図り、コロナ禍における学習機会の確保や新たな時代に対応した教育体制の強化を図る。	現状継続	教育総務課
	事業目的	GIGAスクール構想による学習用端末の活用、オンラインを活用した授業等の充実により、一人一人の理解度に応じた教育体制を整備するとともに、新たな時代に対応した柔軟な発想のできる人材の育成につなげる。					
2-1-6	学校支援事業(生徒指導相談員、配慮児童相談員等の配置)	適応指導教室の設置やスクールソーシャルワーカー等の配置により、教育相談体制を充実させた。	11,112	A	【課題】 適応指導教室の利用状況が低調である  【取組方針】 適応指導教室の活動内容を充実させ、充実させるとともに、相談体制の充実を図る。	現状継続	教育総務課
	事業目的	各種相談員の配置により、教育相談体制を充実を図り、学力の向上に取り組む。					
2-1-7	小中学校施設維持管理事業、小中学校大規模改造事業	各施設の屋根防水改修を行った。 【主な修繕工事】 ・熊野第一小学校 南校舎 ・熊野第三小学校 プール管理棟 ・熊野第四小学校 全校舎 ・熊野中学校 玄関、下足場外 ・熊野東中学校 下足場	141,891	A	【課題】 施設が老朽化し、修繕工事を要する箇所が年々増加している。  【取組方針】 学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕・改修・改築工事を行っていく。	現状継続	教育総務課
	事業目的	学校施設の改修工事や維持修繕工事を適切に実施し、安全・安心な教育環境を整備する。					
2-1-7	交通安全教室等の実施	小学校児童、中学校生徒を対象とした自転車教室及び小学校児童を対象とした歩行者教室を毎年実施し、交通マナー意識の意識の向上に取り組んだ。	519	A	【課題】 児童生徒の交通安全意識の定着  【取組方針】 児童生徒の交通安全の意識の向上のため、関係機関と連携して、学校ごとに、交通安全教室を実施する。	現状継続	教育総務課
	事業目的	学校ごとに交通安全教室を実施し、児童生徒の安全意識の向上を図る。					
2-1-8	通学路交通安全プログラムに基づく取組	各小中学校から要望された危険箇所について、関係者間で認識を共有するために「対策一覧表」等を作成・公表するとともに、合同点検を実施した。	495	A	【課題】 下校時の見守りパトロールや合同点検の継続的な実施  【取組方針】 危険箇所への対策後の効果検証や効果の把握や対策の改善・充実を行い、通学路の安全性向上を図る。	現状継続	教育総務課
	事業目的	H26年度に策定した「熊野町通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関(交通安全対担当課、教育委員会、学校、警察、道路管理者等)との連携により、通学路の安全確保に向けた取組みを継続的に行う。					

2-1-8	町道新設改良事業 (通学路の安全対策)	児童生徒の安全・安心な道路環境を確保するため工事を実施し、歩行者空間を整備することにより、児童生徒の安全・安心な通学路を確保した。 ・町道城之堀線(中溝・城之堀)	19,716	A	【課題】 県事業の進捗や、地元要望を踏まえ優先度・緊急度の高い事業から実施することが必要。  【取組方針】 歩行者の空間確保を図り、児童生徒の安全・安心を高める。	現状継続	建設課
事業目的		児童生徒の安全な通学を確保するため、歩道等の拡幅などを計画的に実施する。					
2-1-8	町道新設改良事業 (通学路の安全対策)	児童生徒の安全・安心な道路環境を確保するため用地買収・測量設計等の事業を推進した。 ・町道呉萩線(呉地・萩原)	18,497	A	【課題】 県事業の進捗や、地元要望を踏まえ優先度・緊急度の高い事業から実施することが必要。  【取組方針】 歩行者の空間確保を図り、児童生徒の安全・安心を高める。	現状継続	建設課
事業目的		児童生徒の安全な通学を確保するため、歩道等の拡幅などを計画的に実施する。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的業務等のため評価がなじまない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題	
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗に遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>B</b> <b>【分析・評価】</b> ○『幼保小中連携教育の推進』では、町内の保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校の教諭等が参加する幼保小中教育推進協議会を通じた研修会を充実させ、接続カリキュラムを改善した。 ○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、ICTを活用した授業支援として、町内小中学校の全教室に大型の電子黒板を配置や、GIGAスクール・サポーターを配置することにより、ICT教育環境を充実させた。また、各種相談員や支援員等を各校に配置し、教職員が授業作りに専念でき、児童生徒と関わる時間の確保につながった。 ○『地域における学校支援の充実』では、学校運営協議会を小中学校6校でそれぞれ年3回開催し、地域と学校が連携して、地域と学校の協働について協議すると共に、コミュニティ・スクールの仕組みを活用した。 ○『ふるさと教育の推進』では、小学校1・2年生で行う低学年書道科授業を実施した。また、各小中学校において防災学習に取り組んだ。 ○『学校施設の整備』では、老朽化した小中学校の施設維持のため、屋根防水改修等を行い、児童生徒の学びの環境を整備した。  <b>【課題】</b> ○『幼保小中連携教育の推進』では子供の育ちや学びを共通の視点でみることや、学校の特色を生かしていけないことに課題がみられる。 ○『地域における学校支援の充実』では、地域との協働が少ないため、地域と学校の協働を充実させる必要がある。 ○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、学校教育の中でICT機器を効果的に使用するために、ICT活用協議会の活用や、GIGAスクール・サポーターの継続配置などの支援の充実が必要である。また、各種相談員や支援員を配置しているが、支援が必要な児童生徒の対応や職員の業務量が増加しており、適応指導教室では、利用状況が低調であるため、適応指導教室の活動内容の充実や相談体制を充実させる必要がある。 ○『学校施設の整備』では、学校施設が老朽化し、修繕工事を要する箇所が年々増加している。	

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針	<Action>
○『幼保小中連携教育の推進』では研修による教員の指導力向上を図り、幼保小中高という縦の接続をスムーズにするとともに、町内各施設の横の連携の強化に取り組む。 ○『適正な学校配置の検討』では、学校規模の適正化について、今後も関係課で検討を継続していく。 ○『学校教育体制の充実』及び『健やかに学ぶ環境の整備』では、「GIGAスクール構想」の推進に向け、今後も学校でのICT活用環境の充実を目指し、時代に対応した教育体制の強化を図る。また、各種相談員、支援員等の配属を今後も継続し、生徒指導体制や学校支援体制の充実を図る。 ○『ふるさと教育の推進』では、地域と学校の特色を生かし、学習環境づくり等において連携を強化していく。 ○『地域における学校支援の充実』では、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域の特色を生かした学習を推進する。 ○『学校施設の整備』については、老朽化した学校施設について、学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕・改修・改築工事を行っていく。	



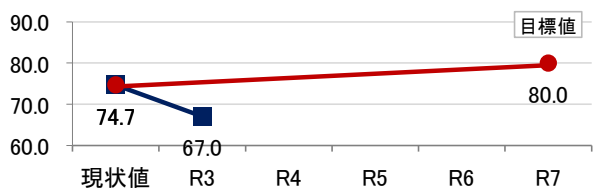
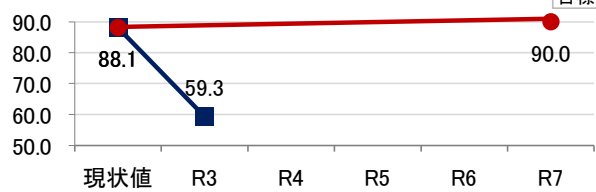
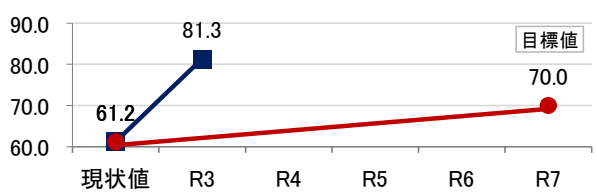
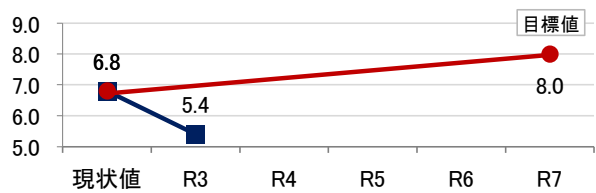
基本目標 2 基本施策 2 生涯学習の振興

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課	教育総務課
基本施策区分	基本施策2 生涯学習の振興		
SDGs区分	  		

具体的施策 <Plan>

2-2-1	生涯学習推進体制の充実
<p>◎生涯学習を積極的に推進していくため、公民館等に関わる町職員の資質向上や、有識者による指導者の確保など、専門性を高めるよう取組体制を強化し、生涯学習の体系的な推進を図ります。</p> <p>◎町民の自主的な活動グループ・団体の育成や活動支援、相互連携の促進を図るとともに、指導者やボランティアの発掘・養成に努め、これらの有効な活用を図ります。</p>	
2-2-2	生涯学習活動の活性化
<p>◎「くまどく」事業の充実を図るとともに、子どもだけでなく大人の読書推進に関する取組についても推進します。</p> <p>◎家庭・青少年・高齢者教育、国際・環境問題など、多様で専門性の高い学習機会の提供に努めます。</p> <p>◎放課後子ども教室運営委員会の活性化を図り、土曜くまのつ教室の開催など、子どもを対象とした教室・講座の充実を図ります。</p> <p>◎広報紙、ホームページの充実やSNS等の活用により、公民館事業など生涯学習に係る情報をきめ細かく提供します。</p> <p>◎若い世代や子育て世代が生涯学習活動に取り組めるよう、魅力ある教室・講座の充実や活動場所の確保に努めます。</p>	
2-2-3	生涯学習施設の整備・有効活用
<p>◎図書館機能の充実を図るため、電子書籍の導入の検討を行うとともに、資料・情報の収集と整理、館内設備とサービスの充実に努めます。</p> <p>◎図書館や公民館等において、デジタル技術を積極的に活用して、生涯教育の充実を図るとともに、リモートによる学習機会の確保などに努めます。</p> <p>◎公民館等の老朽化に対応した施設改修や設備の更新を計画的に進め、機能の維持に努めるとともに、各館の連絡調整を図ります。</p> <p>◎町民が利用しやすい施設の運営方法について検討し、既存施設の有効利用を図ります。</p>	

まちづくり指標(KPI) <Do>

指標No.	指標名		指標					進捗率	担当課								
			現状値	R3	R4	R5	R6			R7							
2-2-①	「くまどく」達成率 (%)	実績値 74.7 目標値 74.7	74.7	67.0				80.0	0.0%	教育総務課							
2-2-②	「くまどく」達成率(小) (%)	実績値 88.1 目標値 88.1	88.1	59.3				90.0	0.0%	教育総務課							
2-2-③	「くまどく」達成率(中) (%)	実績値 61.2 目標値 61.2	61.2	81.3				70.0	100.0%	教育総務課							
2-2-④	図書館の人口1人当たり貸出冊数 (冊)	実績値 6.8 目標値 6.8	6.8	5.4				8.0	0.0%	教育総務課							
2-2-①	「くまどく」達成率 (%)							2-2-②		「くまどく」達成率(小) (%)							
【進捗状況及び増減要因】			令和3年度から「くまどく」の達成条件を変更したが、小中学校毎に取組状況にばらつきがあり、相対的に前年度より達成率は減少した。					【進捗状況及び増減要因】					令和3年度から「くまどく」の達成条件を変更したが、達成者の比率は前年度より下がった。学校間において達成率にばらつきがある。				
2-2-③	「くまどく」達成率(中) (%)							2-2-④		図書館の人口1人当たり貸出冊数 (冊)							
【進捗状況及び増減要因】			令和3年度から「くまどく」の達成条件を変更したため、達成率が向上した。学校間において達成率にばらつきがある。					【進捗状況及び増減要因】					新型コロナウイルス感染症による臨時閉館のため、利用機会の減少による貸出冊数が大幅に低下した。				

具体的施策(実施事業)の取組状況		<Do>						
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課	
2-2-1	社会教育一般事務	・くまどくフォーラム開催(R3.11.5) 参加者70人	130	A	【課題】 実施する時期について他のイベント(文化祭等)と重ならないよう検討が必要  【取組方針】 定住人口拡大にも資するイベントとの連携も視野に取り組む。	拡充	教育総務課	
	事業目的	くまどく事業の充実を図るとともに、町民の読書推進に関心を広げる。						
2-2-1	公民館一般事務(町民文化祭)	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。	-	C	【課題】 町民文化祭開催時の感染症対策運営人員の確保  【取組方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、企画していく。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	生涯学習として活動している団体が、1年間の成果を発表する場としてステージ・展示・バザー部門に分かれて実施。文化の交流をすることでお互いが研鑽でき、文化芸術の向上を図る。						
2-2-2	東防災交流センター管理運営事業	・リトミック 実施4回 参加65人 ・おひざにだっこのおはなし会(読み聞かせ) 実施5回 参加54人	51	C	【課題】 参加者数が少なく、費用対効果が低いためより多くの参加者を集める必要がある  【取組方針】 周知方法等について、検討を行い更なる事業拡充を図る	改善継続	教育総務課	
	事業目的	青少年の健全な育成を図るための学習を行い、また、親子のふれあいを深め、望ましい親子関係、家庭環境づくりを支援する。						
2-2-2	くまの・みらい交流館管理運営事業	・たまひよクラブ(リトミック) 実施13回、参加者356人 ・絵本の広場(読み聞かせ) 実施6回、参加者数25人 ・めだかつこあつまれ(読み聞かせ) 実施1回、参加者数3人	76	C	【課題】 コロナ過で休講が続き、参加者が減少した。その影響のため1講座(めだかつこあつまれ)休止した。  【取組方針】 開催方法等について検討を行い、現状の賑わいを維持しつつ新規参加者を募集する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	青少年の健全な育成を図るための学習を行い、また、親子のふれあいを深め、望ましい親子関係、家庭環境づくりを支援する。						
2-2-2	公民館一般事務(放課後子ども教室)	放課後子供教室推進事業(土曜くまのっ子教室) ・令和3年11月7日(日) ピエロッカー座 あやつり人形づくり人形劇観劇 参加児童 22人 ・令和3年12月11日(土) 年賀状づくり 参加児童 13人  ※年間4回実施予定中、2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	113	B	【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、教室開始時期の遅れ、開催予定教室の中止があった。  【取組方針】 今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を確認しつつ、様々な分野の教室を企画し、町内の小学生に参加を呼び掛けていく。	現状継続	教育総務課	
	事業目的	学年・学校の違う子どもたちと遊んだり、学習し、地域の人達と一緒に活動することで、人との付き合い方を学び、子どもたちの自主性や社会性及び創造性を養うことを目的とする。						
2-2-3	町立図書館管理運営事業	新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、おはなし会の開催や書籍の貸出を行った。 ・貸出冊数:125,858冊	7,332	A	【課題】 利用者数の低迷、特に子供の利用者の減少  【取組方針】 定評のある書籍のみならず、利用者の関心のある書籍の収集にも努め、読書への関心を深める。	現状継続	教育総務課	
	事業目的	図書、記録及び資料を収集し、住民に供与することで、必要な情報を自ら取得し、判断できる環境を整えることを目的とする。						
2-2-3	東防災交流センター管理運営事業	東防災交流センター閉館に伴い、東公民館を閉館し、東分館を東防災交流センター内に設置した。	-	A	【課題】 災害時を見据えた平時からの地域コミュニティの活性化  【取組方針】 地域で支え合う「共助」の意識を醸成するため、平時から地域コミュニティの活動の場として利用されるような環境整備に取り組む。	現状継続	教育総務課	
	事業目的	東公民館を閉館し、令和3年5月に整備した東防災交流センター内に新たに東分館を設置することにより、公民館機能の維持及び地域コミュニティの活性化を図る。						

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなじまない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直して実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題

<Check>

基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗が遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>B</b> <b>【分析・評価】</b> ○『生涯学習の活性化』では、くまどくノートの仕様変更を行い、より本に親しむことができるよう取り組んだ。しかしながら、KPIである「くまどく達成率」について、小学生は目標値をやや下回っているものの、中学生では目標値を超えている。 ○コロナ禍においても各公民館施設で親子のふれあいを深める事業や講座を実施した。 <b>【課題】</b> ○『生涯学習の活性化』では、くまどく事業について、学校間での取組に濃淡が見受けられることから、校長会や学校図書連絡協議会等での事業周知徹底を行う必要がある。 ○各公民館施設の講座等においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により参加者が減少しているため、より多くの参加者を集める講座等を検討する必要がある。

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針

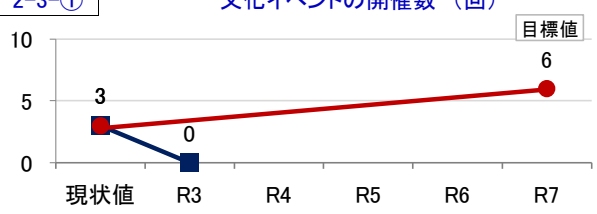
<Action>

- 各小中学校等と連携してくまどく事業を実施するとともに、くまどくフォーラムと定住人口拡大にも資するイベントとの連携融合によるイベントの開催など、町民の読書推進に関する取組について研究を進める。
- 各公民館施設の講座等については、開催方法や周知方法、講座等の企画を充実させることにより、新規参加者の増加に努める。

<b>基本目標</b>	<b>2</b>	<b>基本施策</b>	<b>3</b>	<b>文化・芸術の振興</b>
-------------	----------	-------------	----------	-----------------

<b>基本目標区分</b>	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	<b>担当課</b>	産業観光課 (関係課)教育総務課
<b>基本施策区分</b>	基本施策3 文化・芸術の振興		
<b>SDGs区分</b>			

<b>具体的施策</b>	<b>&lt;Plan&gt;</b>
<b>2-3-1 地域文化活動の支援</b>	<p>◎町民や地域の文化団体・サークルの文化活動を支援するとともに、「町民文化祭」の実施、各種文化講座の開催、指導者の確保等、文化活動の場と機会の提供に努めます。</p> <p>◎コンサート、文化講演会など、町民の希望に沿った魅力ある文化イベントの開催を図ります。</p>
<b>2-3-2 芸術文化の振興</b>	<p>◎子どもから大人まで、町民が優れた芸術・文化に親しむことができるよう、音楽・演劇などの鑑賞機会の提供に努めるとともに、それらの提供方法及び周知の充実を図ります。</p> <p>◎筆の里工房を拠点として、優れた企画展を開催し、町民がトップクラスの芸術や文化人に触れる機会の提供に努めます。</p> <p>◎芸術系大学との交流や熊野高等学校芸術類型など地域の学校との連携について引き続き取り組むとともに、筆の都であることを生かした取組の充実を図ります。</p>
<b>2-3-3 文化活動の推進</b>	<p>◎筆の里工房、くまの・みらい交流館、町民会館、図書館など、施設の性格を生かしたネットワーク化を推進し、有効な活用を図ります。</p> <p>◎町民や企業が自主的に実施する文化関連活動に対して支援します。</p> <p>◎全国書画展覧会、ふれあい書道展、ありがとうの絵てがみ大賞などの公募展、筆の里工房の企画展など、文化施設や筆の里工房を拠点として、筆や筆文化を生かした全国レベルのイベントを支援し、筆のまちの魅力づくりを推進します。</p> <p>◎筆の里工房や町内の教育関連施設と連携し、鑑賞教育などを通じて熊野町における文化芸術への関心を高める取組を行うとともに、様々な「美」を支える筆の産地としての文化の振興と発信を推進します。</p>
<b>2-3-4 文化財等の保護と継承</b>	<p>◎地域の歴史と文化を保護・継承するため、郷土館などを有効に活用する方法について検討します。</p> <p>◎有形無形の文化財については、環境の整備などにより、歴史と文化に触れる学びの場として有効活用を図ります。また、文化財をまちの貴重な魅力の一つとして位置づけ、観光資源としての活用に取り組みます。</p> <p>◎筆関連事業所が所有する書・絵画などについては、まちの貴重な資源・魅力として、公開の場を設けるなど、多様な活用を検討します。</p> <p>◎本町独自の歴史と文化を唯一無二のものとして再評価し、町民が誇りを持って継承しつつ、町外にも積極的にPRできるように努めます。</p> <p>◎筆づくりの技術とそれに関わる本町独自の文化を守り、受け継ぎ、これをブランド力の一つとするため、指定文化財としての登録に取り組みます。</p>

<b>まちづくり指標(KPI)</b>	<b>&lt;Do&gt;</b>									
<b>指標No.</b>	<b>指標名</b>	<b>指標</b>					<b>進捗率</b>	<b>担当課</b>		
		実績値	現状値	R3	R4	R5	R6	R7		
2-3-①	文化イベントの開催数 (回)	3	3	0				6	0.0%	教育総務課
2-3-①	<b>文化イベントの開催数 (回)</b>									
	<b>【進捗状況及び増減要因】</b>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた事業は延期又は中止となった。</p> <p>・R2実施数0回 R3実施数0回</p>								

具体的施策(実施事業)の取組状況		<Do>						
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課	
2-3-1	社会教育一般事務	令和4年2月6日に「宝くじまちの音楽会」を企画し、準備を進めたがコロナ感染症対策のため中止となった。	10	B	【課題】 イベント開催時における人員の確保(他グループからの協力が必要)  【取組方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、企画立案を検討する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	通常公演することができない、著名な音楽家を招いて音楽コンサートを行うことで、町民への文化の普及振興を図る。						
2-3-1	公民館一般事務(町民文化祭)	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。	-	C	【課題】 町民文化祭開催時の感染症対策運営人員の確保  【取組方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、企画していく。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	生涯学習として活動している団体が、1年間の成果を発表する場としてステージ・展示・バザー部門に分かれて実施。文化の交流をすることでお互いが研鑽でき、文化芸術の向上を図る。						
2-3-2	筆の里工房事業	・安田女子大学と連携協定を締結し、筆文化の振興・発展・魅力の普及や筆文化の次世代への継承に関するなどをテーマに今後連携することとした。 ・熊野高校との連携により、筆の日にあわせ生徒がプロデュースしたイルミネーションで筆の里工房を飾るとともに、安田女子大学の生徒による筆や書道に触れる体験イベントを開催し、各種連携による筆文化の振興と発信に寄与した。	154,606	A	【課題】 ・熊野町と安田女子大学とは物理的に距離があり、学生が気軽に熊野に訪訪できない。  【取組方針】 ・連携協定を元に今後も継続的に筆文化の振興を図るとともに矢野駅からの交通アクセスや町内交通手段の充実を検討する。	現状継続	産業観光課	
	事業目的	安田女子大学をはじめとする地域の学校との連携を一層強化し、筆の里工房北側の新施設を拠点とした継続的な取り組みとして確立する。						
2-3-3	熊野町公民館管理運営事業	遊び心毛筆教室 実施5回 参加人数64人	35	B	【課題】 固定された参加者の受講が目立つため、より多くの地域住民に参加してもらう必要がある。  【取組方針】 開催方法等の検討を行い、現状の賑わいを維持しつつ、新規参加者を募集する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	筆の産地としての文化の振興と発信の推進を図る。						
2-3-3	くまの・みらい交流館管理運営事業	遊び書き方教室 実施回数:9回、参加:100人	63	B	【課題】 固定された参加者の受講が目立つため、より多くの地域住民に参加してもらう必要がある。  【取組方針】 開催方法等の検討を行い、現状の賑わいを維持しつつ、新規参加者を募集する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	筆の産地としての文化の振興と発信の推進を図る。						
2-3-3	くまの・みらい交流館管理運営事業	筆遊び絵画教室 実施回数:9回、参加者数:63人	76	B	【課題】 固定された参加者の受講が目立つため、より多くの地域住民に参加してもらう必要がある。  【取組方針】 開催方法等の検討を行い、現状の賑わいを維持しつつ、新規参加者を募集する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	筆の産地としての文化の振興と発信の推進を図る。						
2-3-3	東防災交流センター管理運営事業	遊び心習字教室 実施5回 参加44人	35	B	【課題】 固定された参加者の受講が目立つため、より多くの地域住民に参加してもらう必要がある。  【取組方針】 開催方法等の検討を行い、現状の賑わいを維持しつつ、新規参加者を募集する。	改善継続	教育総務課	
	事業目的	筆の産地としての文化の振興と発信の推進を図る。						

2-3-3	筆の里工房事業【再掲】	・筆の里工房周辺整備事業として、関係かと連携し、筆の里工房西側の駐車場、駐車場と筆の里工房をつなぐ人道橋、観光交流施設建築のための交流ゾーンの造成工事を実施。 ・コロナ禍により筆の里工房の集客は伸び悩んだが、町内小学校の鑑賞・体験教育などは着実に継続実施した。	154,606	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野町の風土・文化に調和した施設設計の着実な進展と駐車場を含む公園整備設計業務との円滑な連携。</li> <li>・立地が良いとは言えず、アクセス等の改善を検討する必要。</li> </ul> <p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計者選定委員会や文化芸術アドバイザーなど専門家からの助力・支援。</li> <li>・企画展・随時イベントの工夫及び工房北側を整備と連携したさらなる魅力づくりと情報発信に注力。</li> <li>・交通アクセスの手法に関する検討実施。</li> </ul>	改善継続	産業観光課
	事業目的	筆の里工房の一層の活用と活性化を図り、熊野町への観光客数の増加や町民の文化芸術活動の拠点化を目指す。					
2-3-4	文化財保護事業	熊野筆の広島県無形文化財指定を目的に、熊野筆文化財調査研究会を立ち上げ、熊野筆の資料収集・熊野町の歴史文化の研究を行った。	500	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊野町に関する資料が少なくどのようにまとめるか検討中。古文書等の保存についても検討が必要。</li> </ul> <p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野筆文化財調査研究会の取りまとめを基に広島県に無形文化財の登録を申請する。</li> <li>・熊野町文化財保存活用地域計画の作成を行い、地域の歴史と文化の保護・継承に取り組む。</li> </ul>	拡充	産業観光課
	事業目的	文化財を保存し、かつその活用を図り、郷土の歴史・文化について理解を深め、町民の文化的向上・発展に資する。					
2-3-4	観光推進事業	・複業人材を登用し、郷土館を観光コンテンツとするための提案コンテストを実施し、多様なアイデアを収集した。	-	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に職員が情報発信するには業務負担が大きい。</li> </ul> <p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊野みらいLABOの取り組みを進める中で、地域人材と連携し文化財を観光資源として活用を図る。</li> </ul>	拡充	産業観光課
	事業目的	文化財を保存し、かつその活用を図り、郷土の歴史・文化について理解を深め、町民の文化的向上・発展に資する。					
2-3-4	郷土館管理運営事業	郷土館を土日祝に開館した。	965	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土館施設の老朽化、展示品の整理</li> </ul> <p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆の里工房とも連携を密にし展示品の整理保存に努める。</li> </ul>	現状継続	教育総務課
	事業目的	文化財をまちの貴重な魅力の一つとして位置づけ、観光資源としての活用に取り組む。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<p><b>A (想定90%以上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を得られた</li> </ul> <p><b>B (想定60%以上90%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を概ね得られた</li> </ul> <p><b>C (想定30%以上60%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている)</li> <li>・計画していた成果を十分に得られなかった</li> </ul> <p><b>D (想定0%以上30%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている)</li> <li>・計画していた成果をほとんど得られなかった</li> </ul> <p><b>E (評価できない)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった</li> <li>・義務的事業等のため評価がなされない</li> </ul>	<p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する</li> </ul> <p>【現状継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する</li> </ul> <p>【改善継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する</li> </ul> <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容や予算規模等を縮小して実施する</li> </ul> <p>【完了・廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業が完了した又は事業を廃止した</li> </ul>

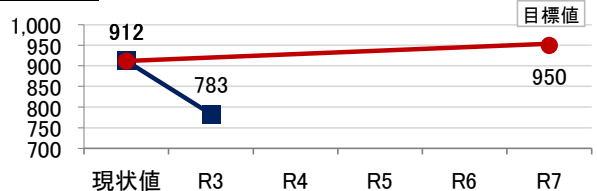
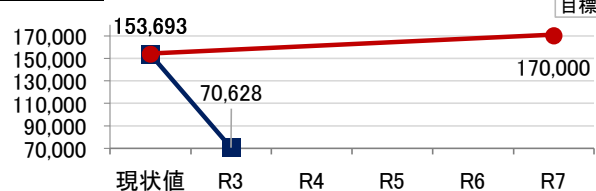
KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題	
<p>S 順調に進捗している</p> <p>A 概ね順調に進捗している</p> <p><b>B 一定の進捗がある</b></p> <p>C 進捗に遅れがある</p> <p>D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>【分析・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の影響から、各種イベントが中止となった。</li> <li>○『芸術文化の振興』では、安田女子大学と包括連携協定を締結し、筆文化の普及や、次世代への継承に関することをテーマとして、連携を進めることとした。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、実施方法の検討を行う必要がある。</li> <li>○『文化活動の推進』に関し、町のみでの継続的・包括的な事業実施は業務負担や波及効果に限界があるため、地域人材を巻き込む仕組みが必要である。</li> </ul>

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針	<Action>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○『地域文化活動の支援』、『芸術文化の振興』では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、実施方法を検討していく。</li> <li>○『文化活動の推進』では、官民一体となって熊野町の活性化を図るため、多方面で地域人材が活躍できる仕組みを検討する。</li> </ul>	

基本目標 2 基本施策 4 スポーツの振興

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課	教育総務課
基本施策区分	基本施策4 スポーツの振興		
SDGs区分	 		

具体的施策 <Plan>	
2-4-1	<b>スポーツ振興体制の充実</b> ◎町民誰もが、関心・適性等に応じてスポーツを楽しめる環境づくりを進めるため、「スポーツ振興計画」を策定し、短・中長期的なスポーツ振興を図ります。 ◎幼児から高齢者までの生涯スポーツの振興を図り、体力づくりや健康づくりを推進するとともに、スポーツ教室、イベントの開催など、ホームページやSNSなどを通じてスポーツ・レクリエーションに関するきめ細かい情報提供に努めます。 ◎体育協会、スポーツ少年団など各種団体の活動を支援し、競技力の向上を図るとともに、スポーツボランティア及び指導者などの確保や資質の向上に努めます。
2-4-2	<b>スポーツ・レクリエーション活動の活性化</b> ◎スポーツ・レクリエーション活動が日常化されるよう参加機会の拡充を図ります。 ◎熊野駅伝大会や新春熊野スター駅伝大会をはじめ、町民が参加しやすく、魅力あるスポーツ大会等各種イベントを開催します。
2-4-3	<b>総合型地域スポーツクラブ(筆の里スポーツクラブ)の育成と定着</b> ◎子どもから高齢者まで誰もが、体力、年齢、目的等に応じて親しむことができる各種スポーツ教室、高齢者健康スポーツ教室、講座等を開催します。 ◎町民のニーズを把握し、若年層の会員の加入促進やスポーツクラブ活動の定着化を図ります。
2-4-4	<b>スポーツ・レクリエーション施設の整備・有効活用</b> ◎既存施設の適切な管理運営を促進するとともに、施設の計画的な改修・設備の更新に努め、良好な利用環境を維持します。 ◎手軽なレクリエーションの場として、くまのファミリー公園・冒険広場の活用を促進します。

まちづくり指標(KPI) <Do>											
指標No.	指標名	実績値	目標値	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	進捗率	担当課
2-4-①	総合型地域スポーツクラブ(筆の里スポーツクラブ)会員数(人)	912	912	912	783				950	0.0%	教育総務課
2-4-②	体育館等スポーツ施設の利用者数(人)	153,693	153,693	153,693	70,628				170,000	0.0%	教育総務課
2-4-①	総合型地域スポーツクラブ(筆の里スポーツクラブ)会員数(人)										
2-4-②	体育館等スポーツ施設の利用者数(人)										
【進捗状況及び増減要因】						【進捗状況及び増減要因】					
コロナ感染症対策のため、外出自粛が大きな要因と捉えている。 ・R2会員数:839人 R3会員数:783人						コロナ感染症対策による休館や体育大会等のイベントの中止が大きな要因と捉えている。 ・R2利用者数:76,219人 R3利用者数:70,628人					

具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>							
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
2-4-1	社会体育一般事務事業	NPO法人熊野健康スポーツ振興会、体育協会へ補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図り、体力づくりや健康づくりを推進を目指す。	20,031	A	【課題】 新型コロナウイルス感染症対策のため、従前の事業計画を大幅に見直す必要が生じた。 【取組方針】 新型コロナウイルス感染症対策を十分にいき、実施対応できる対策を講じる。	現状継続	教育総務課
事業目的		競技力の向上を図るとともに、スポーツボランティア及び指導者などの確保や資質の向上を図る					
2-4-2	東防災交流センター管理運営事業	ふるさとハイキング 実施回数1回 参加9人	-	B	【課題】 阿戸山楽会との合同で行ったが、1回だけの講座になった。 【取組方針】 その後の交流も進められるよう企画していく。また、その他にも体力作りの講座を企画していく。	現状継続	教育総務課
事業目的		健康の大切さを理解し、体力作りを推進する。					



2-4-2	社会体育一般事務事業	体育大会、熊野駅伝大会、スター駅伝大会を計画した。	601	B	<p>【課題】 新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となった。</p> <p>【取組方針】 新型コロナウイルス感染症対策を十分にいき、実施対応できる対策を講じる。</p>	現状継続	教育総務課
事業目的		町民が参加しやすく、魅力あるスポーツ大会等各種イベントを開催する。					
2-4-3	社会体育一般事務事業	筆の里スポーツクラブへ補助金を支出しクラブ活動の維持強化へつなげている	1,049	B	<p>【課題】 高齢化等によるクラブ会員数の減少</p> <p>【取組方針】 身近に楽しめる軽スポーツの普及啓発を図る。</p>	現状継続	教育総務課
事業目的		スポーツクラブ活動の定着化を図る。					
2-4-4	社会体育施設管理事業	町民グラウンドの音響設備を修繕し、施設環境整備につなげた。	486	A	<p>【課題】 改修費用が多額と見込まれる。</p> <p>【取組方針】 施設長寿命化計画を毎年見直し、計画的な改修計画を行う。</p>	現状継続	教育総務課
事業目的		施設の計画的な改修・設備の更新に努め、良好な利用環境を維持を図る					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<p><b>A (想定90%以上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を得られた</li> </ul> <p><b>B (想定60%以上90%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を概ね得られた</li> </ul> <p><b>C (想定30%以上60%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている)</li> <li>・計画していた成果を十分に得られなかった</li> </ul> <p><b>D (想定0%以上30%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている)</li> <li>・計画していた成果をほとんど得られなかった</li> </ul> <p><b>E (評価できない)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった</li> <li>・義務的事業等のため評価がなじまない</li> </ul>	<p>【<b>拡充</b>】 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する</p> <p>【<b>現状継続</b>】 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する</p> <p>【<b>改善継続</b>】 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直して実施する</p> <p>【<b>縮小</b>】 事業内容や予算規模等を縮小して実施する</p> <p>【<b>完了・廃止</b>】 事業が完了した又は事業を廃止した</p>

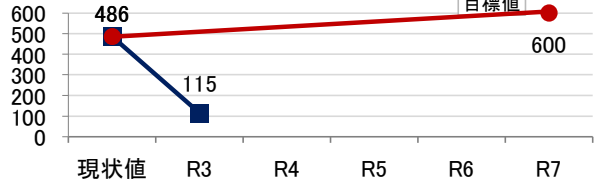
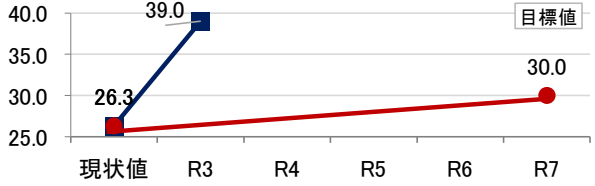
KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題 <Check>	
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
<p>S 順調に進捗している</p> <p>A 概ね順調に進捗している</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗に遅れがある</p> <p>D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p><b>B</b></p> <p>【分析・評価】</p> <p>○ NPO法人熊野健康スポーツ振興会、体育協会、筆の里スポーツクラブへ補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図り、体力づくりや健康づくりを推進したが、コロナ禍により会員数が減少しており、また、町民体育大会、熊野駅伝大会、スター駅伝大会が中止となった。</p> <p>○ スポーツ・レクリエーション施設の整備として、町民グラウンドの音響設備を修繕し、施設環境の維持充実に取り組んだ。</p> <p>【課題】</p> <p>○ 町民の高齢化、個人の新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響から、KPIである「筆の里スポーツクラブ会員数」が減少している状況を踏まえ、参加者募集のPR方法など見直しを検討する必要がある。</p>

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針 <Action>
<p>○ 多くの町民が集い開催する大会については、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する必要があるが、NPO法人熊野健康スポーツ振興会と密に連携を図りつつ、世代に関係なく楽しめるスポーツの普及活動の研究を進める。</p> <p>○ 本町の短・中長期的なスポーツ振興を推進するため、「スポーツ振興計画」の策定を検討する。</p>

基本目標 2 基本施策 5 人権が尊重された社会づくり

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課 生活環境課 (関係課)総務課、教育総務課
基本施策区分	基本施策5 人権が尊重された社会づくり	
SDGs区分		

<b>具体的施策 &lt;Plan&gt;</b>	
2-5-1	人権教育・学習や人権啓発の充実
<p>◎人権擁護委員による人権教室、人権の花運動を小学校全校で実施するなど、子どもに対する人権思想の学習及び普及・啓発を図ります。</p> <p>◎人権についての正しい理解と認識を深めるよう、講演会の開催など、親しみやすい人権教育、人権啓発活動の充実を図ります。</p> <p>◎人権教育・啓発を推進する指導者の育成や団体・グループの支援に努めます。</p> <p>◎広報紙やホームページ、SNSなど多様な媒体を活用し、総合的かつ効果的な人権啓発を推進します。</p>	
2-5-2	人権相談・援護体制の充実
<p>◎人権に対する諸問題に適切に対応できるよう、人権擁護委員などとの連携を強化し、人権相談の充実を図ります。</p> <p>◎人権についての職員研修の充実を図り、人権擁護に努めます。</p> <p>◎あらゆる人権侵害に対し、問題の早期解決を図るため定期的実施する「人権ホットライン」などを通じ、人権問題に関する相談支援体制の充実を図るとともに、利用者にとってわかりやすい広報や情報提供に努めます。</p>	
2-5-3	男女共同参画社会の推進
<p>◎男女平等意識の浸透を図るため、学校教育、生涯学習における男女平等の理念に基づいた教育、家庭や地域活動における男女共同参画についての意識啓発など、様々な広報・啓発活動の充実を図ります。</p> <p>◎女性リーダーや女性団体の育成を支援し、女性の自主的活動の活発化や参加機会の拡充を図ります。</p> <p>◎「男女雇用機会均等法」の浸透や民間事業所における女性の職場環境の充実に向けて啓発を行うとともに、町の女性職員について、適正な人材配置や積極的な人材登用に努めます。</p> <p>◎特定事業主行動計画を策定し、定量的な目標の達成に向け行動します。また、その取組状況について、毎年公表します。</p> <p>◎審議会や協議会など、多様な分野における政策・方針決定の場への女性の参画を拡充・促進します。</p> <p>◎子育てや介護における固定的な分担意識の払しょく等を啓発し、ガイドラインの作成を検討するなど、地域や事業所等における推進体制の構築を支援します。</p> <p>◎男女間におけるDV(ドメスティックバイオレンス)などの精神的・身体的暴力やセクシャル・ハラスメントの発生防止と根絶に向けて、関係機関と連携しながら対策を強化し、人権擁護と被害にあった人の保護を強化します。</p> <p>◎性の多様性への理解促進や性的マイノリティの方々の社会参加の促進のため、「パートナーシップ宣誓制度」について広島広域都市圏構成市町との相互利用を図るなど、先進的な取組を推進します。</p>	

<b>まちづくり指標(KPI) &lt;Do&gt;</b>										
指標No.	指標名	指標							進捗率	担当課
		実績値	現状値	R3	R4	R5	R6	R7		
2-5-①	人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数(人)	実績値 486	現状値 486	115				600	0.0%	生活環境課
2-5-②	審議会などにおける女性委員等の比率(%)	実績値 26.3	現状値 26.3	39.0				30.0	100.0%	生活環境課
2-5-①	人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数(人)	2-5-② 審議会などにおける女性委員等の比率(%)								
										
【進捗状況及び増減要因】		【進捗状況及び増減要因】								
新型コロナウイルス感染症の影響により講演会は実施していない。 ・R2年間参加者数:0人 R3年間参加者数:115人		各審議会の女性委員が増えたため。 ・R2比率:29.0%(全委員149人中、女性委員43人) ・R3比率:39.0%(全委員64人中、女性委員25人)								



具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>			決算額 (千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の 方向性	担当課
2-5-1	くまの・みらい交流館 管理運営事業	人権講座くれしん笑芸会 実施:1回 参加者数:70人	7	B	【課題】 新型コロナ感染状況等踏まえ、開催 方法等検討する必要がある。 【取組方針】 開催方法等の検討を行い、適切な ニーズの把握に努める。	現状継続	教育総務 課
事業目的		人権についての正しい理解と認識を深めるよう、親しみやすい人権教育、人権啓発活動の充実を図ります。					
2-5-1	人権問題啓発推進事 業(人権啓発)	令和3年度人権の花運動消耗品として 球根・ポットを購入し、町内の小学 校4校の2年生を対象に、町内に配置 されている6名の人権擁護委員から、 ヒヤシンスの球根を贈呈した。	75	A	【課題】 継続的な活動の維持 【取組方針】 子どもに対する人権学習等を通じて、 人権思想の普及・啓発に努める。	現状継続	生活環境 課
事業目的		各関係機関、団体と連携し、住民の人権意識の向上を図る。					
2-5-2	人権問題啓発推進事 業(人権相談)	人権擁護委員と連携し、人権相談を 受け付けた。 ・人権相談件数:27件	410	A	【課題】 人権に関する問題は多種多様であ り、専門的な知識が必要である。 【取組方針】 人権擁護委員との連携強化や「人権 ホットライン」の周知により、人権問題 に関する相談支援体制の充実を図 る。	現状継続	生活環境 課
事業目的		人権擁護委員等と連携し、町民相談事業を実施する。					
2-5-2	広域隣保活動事業	地域住民の生活上の各種相談に応 じ、生活相談員が助言等を行った。 相談活動:170日 相談件数:202件	2,322	A	【課題】 相談内容の複雑・多様化 【取組方針】 多様化する相談内容に応じた対応に より、人権啓発活動に取り組む。	現状継続	生活環境 課
事業目的		地域社会の中で福祉の向上や人権啓発活動の拠点となり、各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行 う。					
2-5-2	熊野町教育集会所管 理事業	展示板作成等により、教育集会所で の人権に関する作品展示を実施し た。	633	A	【課題】 施設が老朽化しており、今後の運営 方法について検討が必要。 【取組方針】 地域住民の学習増進等のあり方を踏 まえ、今後の運営方法について検討 を行う。	現状継続	生活環境 課
事業目的		地域住民の学習の増進、教養の向上等に活用する。					
2-5-3	人権問題啓発推進事 業(男女共同参画)	アンケート調査や策定委員会の意見 を踏まえ、令和7年度までを計画期間 とする「熊野町男女共同参画プラン (第三期)」を策定した。	317	A	【課題】 男女共同参画プランの実行 【取組方針】 PDCAサイクルの実施による点検・評 価を行い、今後の男女共同参画社会 の実現に向けた施策を推進する。	現状継続	生活環境 課
事業目的		令和4年2月に策定した「熊野町男女共同参画プラン(第三期)」に基づき、男女共同参画のまちづくりを推進する。					
2-5-3	熊野町特定事業主行 動計画に基づく取組	一斉退庁日や年次有給休暇の計画 な取得をグループウェアで周知した。 また、育休中の職員へ、職場内の情 報発信や復職時の支援制度周知を 実施した。 【R3主な実績】 ・女性職員の管理職の割合:13.3% (目標値:13%) ・育児休業取得率:女性100%、男性 20%(目標値:男性5%) ・職員1人当たりの年間時間外勤務 時間数:145.9h(目標値:240h以内) ・有給休暇平均取得日数:10日(目標 値:15日)	-	A	【課題】 年休取得が5日未満の職員がいるな ど、職員によって年休取得の意識が 異なる 【取組方針】 職員が休暇を取得しやすい環境の整 備と休暇制度の周知方法について検 討する。	現状継続	総務課
事業目的		「次世代育成支援対策法」及び「女性活躍推進法」に基づく特定事業主行動計画を令和2年度に策定し、職場において子育てが しやすい環境整備や女性の職業生活における活躍推進に取り組むことにより、令和6年度の目標値達成を目指す。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなじまない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題 <Check>	
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗に遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>A</b> <b>【分析・評価】</b> ○ 公民館施設では小規模な人権講座を開催したものの、新型コロナウイルスの影響により人権に関する講演会は開催できなかったため、KPIである「人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数」は激減している。 ○ 男女共同参画社会の推進については、令和7年度までを計画期間とする「熊野町男女共同参画プラン(第三期)」を策定した。また、庁舎内(職員)においては、育休中の職員へ復職時の支援制度の周知を実施するなど子育てしやすい環境整備に取り組んでいる中、男性職員の育休取得率は20%と高い比率となった。 <b>【課題】</b> ○ 人権に関する講演会や講座については、コロナ禍でも開催できるように、開催方法の検討が必要。 ○ 女性委員の比率が目標値を超過しているものの、これは審議会等の委員の母数自体が激減していることが要因となっている。

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針 <Action>
○ 人権尊重や人権思想を幅広く普及させるために、人権に関するイベントについて開催方法や周知の方法を検討し、コロナ禍においても多くの人にイベントへ参加してもらうよう取り組む。 ○ 令和7年度までを計画期間とする「熊野町男女共同参画プラン(第三期)」に基づき、引き続き男女共同参画プランのPDCAサイクルを実施し、点検・評価を行い、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策に取り組む。

基本目標 2 基本施策 6 青少年健全育成

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課	教育総務課
基本施策区分	基本施策6 青少年健全育成		
SDGs区分	 		

**具体的施策 <Plan>**

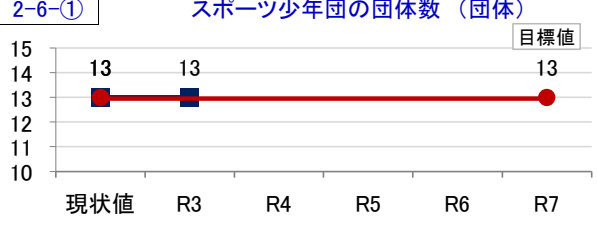
**2-6-1 健全育成の推進**

◎青少年育成くまの町民会議を中心として、地域における青少年の健全育成環境を整備するとともに、公民館活動等を通じて多様な青少年活動の推進を図り、心身ともに健全な青少年を育成します。  
 ◎青少年の問題行動について、気軽に相談できる体制を整備します。  
 ◎青少年の健全育成についての情報発信や啓発活動を充実し、家庭や地域における教育力の向上を促進します。

**2-6-2 青少年活動の推進**

◎スポーツ・文化活動など、青少年活動の場と機会の充実に努めるとともに、発表の場を確保し、それら関連情報の提供の充実を図ります。  
 ◎青少年の豊かな心を養い、地域社会へ愛着を高めていけるよう、コミュニティ活動、ボランティア活動、祭りなどへの積極的な参加を促進します。  
 ◎少子化が進む中においても、高校生までが入団可能なスポーツ少年団や、総合型地域スポーツクラブなどにおける育成や活動を支援するとともに、指導者やボランティアの確保に努めます。

**まちづくり指標 (KPI) <Do>**

指標No.	指標名	指標							進捗率	担当課	
		実績値	現状値	R3	R4	R5	R6	R7			
2-6-①	スポーツ少年団の団体数 (団体)	実績値 目標値	13 13	13					13	0.0%	教育総務課
2-6-①	<p>スポーツ少年団の団体数 (団体)</p>  <p>【進捗状況及び増減要因】 R3も前年度までと同様に、13のスポーツ少年団が活動を行った。</p>										

**具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>**

具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額 (千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
2-6-1	東防災交流センター管理運営事業	小学生夏休み講座 実施3回 参加27人	29	B	【課題】 希望者が確実に受講できるような講座の開催(人気のある講座に集中し、受講できない児童あり) 【取組方針】 参加者のニーズを把握し、魅力ある講座を開催する。	現状継続	教育総務課
	事業目的	青少年の健全な育成を図るための学習を行う。					
2-6-1	くまの・みらい交流館管理運営事業	小学生夏休み講座 実施14回 参加172人 子ども将棋教室(大会) 実施12回 参加273人	131	C	【課題】 コロナ過での受講回数の制限もあり参加者が減少した。 【取組方針】 参加者のニーズを把握し、魅力ある講座を開催する。	改善継続	教育総務課
	事業目的	青少年の健全な育成を図るための学習を行う。					
2-6-1	公民館一般事務(放課後子ども教室)	放課後子供教室推進事業(土曜くまのっ子教室) 令和3年11月7日(日) ピエロック一座 あやつり人形つくり人形劇観劇 参加児童 22人 令和3年12月11日(土) 年賀状つくり 参加児童 13人 ※年間4回実施予定中、2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	113	B	【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、教室開始時期の遅れ、開催予定教室の中止が多く、年度をとおして2回のみ開催となった。 【取組方針】 今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、様々な分野の教室を企画し、町内の小学生に参加を呼び掛けていく。	現状継続	教育総務課
	事業目的	学校・学年の違う子供たちと遊んだり、学習し、地域の人達と一緒に活動することで、人との関わり合い方を学び、子供たちの自主性や社会性及び創造性を養うことを目的とする。					

2-6-1	青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害図書の立入調査の実施</li> <li>・町内書店、コンビニ、玩具取扱店、カラオケ店の9店舗</li> <li>・町内保育園、幼稚園、認定こども園7園に希望の絵本を贈呈</li> <li>・子ども110番の家募集</li> <li>・町広報による啓発</li> </ul>	5	C	<p>【課題】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされた事業が多く、当初の年度計画よりも実際に実施できた事業が少なかった。</p> <p>【取組方針】 事業の実施について、衛生面等に充分留意した計画・運営を行う。</p>	改善継続	教育総務課
事業目的		青少年の健全育成、自主的活動、社会参加の促進を図る。					
2-6-2	成人を祝う会事業	令和3年成人を祝う会(延期分)を令和3年5月2日に実施。参加者158人 令和4年1月9日に開催予定であった令和4年成人を祝う会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が延期された。(令和4年5月1日に延期)	1,007	B	<p>【課題】 成人を祝う会実行委員を公募により、募集しているが、応募人数が少ないため、募集方法の改善が必要。</p> <p>【取組方針】 前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、式典を開催する。</p>	改善継続	教育総務課
事業目的		成人となったことを自覚し、これから社会に進出しようとする青年を祝い、健全育成を図る。					
2-6-2	社会体育一般事務	NPO法人熊野健康スポーツ振興会を通じてスポーツ少年団に補助金を交付し、その活動を支援し青少年健全育成を推進する。	302	B	<p>【課題】 指導者の負担緩和が必要と考える。</p> <p>【取組方針】 指導者資格取得の費用補助など指導者への支援策を研究していく。</p>	現状継続	教育総務課
事業目的		スポーツ少年団の活動を支援し青少年健全育成を推進する。					

「評価」区分		「今後の方向性」区分	
<p><b>A (想定90%以上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を得られた</li> </ul> <p><b>B (想定60%以上90%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を概ね得られた</li> </ul> <p><b>C (想定30%以上60%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている)</li> <li>・計画していた成果を十分に得られなかった</li> </ul> <p><b>D (想定0%以上30%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている)</li> <li>・計画していた成果をほとんど得られなかった</li> </ul> <p><b>E (評価できない)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった</li> <li>・義務的業務等のため評価がなされない</li> </ul>		<p>【拡充】 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する</p> <p>【現状継続】 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する</p> <p>【改善継続】 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する</p> <p>【縮小】 事業内容や予算規模等を縮小して実施する</p> <p>【完了・廃止】 事業が完了した又は事業を廃止した</p>	

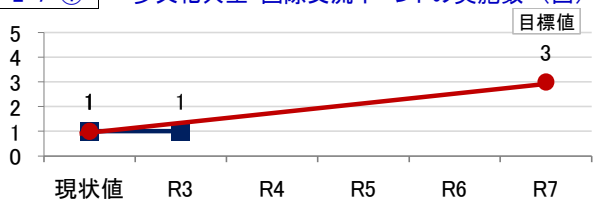
KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題 <Check>	
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
<p>S 順調に進捗している</p> <p>A 概ね順調に進捗している</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗に遅れがある</p> <p>D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p><b>B</b></p> <p>【分析・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健全育成の推進では、各公民館施設で小学生を対象とした講座等を開催した。</li> <li>○ 青少年活動の推進では、スポーツ少年団に補助金を交付し、活動を支援し、スポーツを通じた青少年健全育成に取り組み、KPIである「スポーツ少年団の団体数」は目標率を達成している。</li> <li>○ 成人を祝う会については、延期した令和3年成人を祝う会を令和3年5月2日に実施した。なお、令和4年1月9日開催予定の令和4年成人を祝う会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が延期された。(令和4年5月1日に実施)</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各公民館施設での講座においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加者数が減少している。</li> <li>○ 小・中学生の人口が減少している状況も踏まえ、スポーツ少年団加入PR方法の見直しを検討する必要がある。</li> </ul>

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針 <Action>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各公民館施設の講座等については、開催方法や周知方法、講座等の企画を充実させることにより、新規参加者の増加に努める。</li> <li>○ スポーツ少年団加入PR方法の見直しを検討しつつ、その指導者の養成も喫緊の課題と捉え、スポーツ推進委員協議会とも連携し取り組んでいくための研究を進める。</li> </ul>

**基本目標 2 基本施策 7 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進**

基本目標区分	基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち	担当課 産業観光課、生活環境課 (関係課)教育総務課
基本施策区分	基本施策7 地域間交流・多文化共生・国際理解の推進	
SDGs区分	  	

<b>具体的施策 &lt;Plan&gt;</b>	
2-7-1	多世代交流・国際理解の推進
<p>◎学校教育、生涯学習の機会や、公民館・町民体育館の活用等により、すべての世代が参加できるスポーツ・レクリエーションや文化事業、イベントといった多世代交流事業を推進します。</p> <p>◎外国人に熊野町の文化などを伝える機会を設けるとともに、本町の子どもたちがよりグローバルな視野を持って将来活躍することができるよう、県や大学等との連携により、国際交流の機会を創出することで、国際理解を促します。</p> <p>◎学校での英語教育や地域に暮らす外国人との交流などを通じて、外国語や外国人とふれあえる場を積極的に設けることで、児童生徒の豊かな国際感覚を養います。</p>	
2-7-2	ともに支えあう体制の整備
<p>◎少子高齢社会や生活様式・考え方の多様化についての意識と理解を高め、世代相互が協力し、ともに支えあう地域社会の形成を推進します。</p> <p>◎外国人労働者など異なる文化を持つ人々が地域でともに生活していることを正しく理解し、地域で共生する社会の形成を推進します。</p>	
2-7-3	地域活動への参画支援
<p>◎公民館、図書館などにおける各種講座、自主事業を開催するなど、地域における多様な学習機会を提供することで、地域住民同士の地域間交流を促進します。</p> <p>◎地域の行事、イベントへの参加や学校・福祉・環境など多様な分野におけるボランティア活動への参加を促進します。</p>	

<b>まちづくり指標(KPI) &lt;Do&gt;</b>									
指標No.	指標名	実績値	指標					進捗率	担当課
			現状値	R3	R4	R5	R6		
2-7-①	多文化共生・国際交流イベントの実施数(回)	1	1					0.0%	産業観光課、生活環境課
2-7-①	多文化共生・国際交流イベントの実施数(回)								
									
【進捗状況及び増減要因】		<p>外国人観光客へのサービスである、広島県地域通訳案内士に対して、熊野町の魅力を伝える研修会を実施した。</p> <p>・R2実施数1回 R3実施数1回</p>							

<b>具体的施策(実施事業)の取組状況 &lt;Do&gt;</b>							
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
2-7-1	国際交流事業	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントは実施できなかったが、広島を訪れる外国人へのサービスである広島県地域通訳案内士に熊野町の魅力を伝える研修会を実施。	124	B	<p>【課題】新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催方法等を検討する必要がある。</p> <p>【取組方針】取組がマンネリ化しつつあるため、外国人、通訳案内士のニーズの把握に努める。</p>	改善継続	産業観光課
	事業目的	広島県内を訪れる外国人旅行者を熊野町にも誘致し、日本文化と熊野町の文化を周知するとともに、観光面での活性化を図る。					
2-7-1	地域振興事業(外国人相談窓口共同設置)	広島広域都市圏連携事業として広島市に共同相談窓口を設置し、広島市と安芸郡4町が共同で運営。	203	A	<p>【課題】相談窓口の運営協力及び周知</p> <p>【取組方針】HP等で周知することにより、外国人住民がより安心して生活できる環境を整備する。</p>	現状継続	生活環境課
	事業目的	日本語の理解が十分でない外国人住民等に対して、窓口や電話による相談、生活関連情報の提供、市内行政機関への同行通訳などを行うための総合相談窓口を共同で設置、運営する。					

2-7-1	くまの・みらい交流館 管理運営事業	事業名:多世代交流事業おもつき 大会、実施回数:1回、参加者:227人	30	B	【課題】 新型コロナウイルス感染状況等踏まえ、開催 方法等を検討する必要がある。  【取組方針】 開催方法等について検討を行い、衛 生・安全面に留意開催する。	現状継続	教育総務 課
	事業目的	すべての世代が参加できるイベント等を通じ、多世代・地域間の交流を図る。					
2-7-1	ALT配置事業	全小中学校を対象に、2校につき1人 のALTを、通年を通して配置し小学 校の外国語活動と中学校の英語科 の授業で、授業補助を行った。	15,933	A	【課題】 ALTの効果的な活用。  【取組方針】 国際理解教育、外国語教育の充実 のため、引き続き、全小中学校への ALTの配置を継続する。	現状継続	教育総務 課
	事業目的	中学校の英語科や小学校での令和2年度から教科化された外国語活動(英語)の授業補助として、小中学校に外国語活動指 導助手を配置し、外国語及び国際理解教育の向上を図る。					
2-7-3	東防災交流センター 管理運営事業	ふるさとハイキング 実施回数1回 参加9人	-	B	【課題】 阿戸山楽会との合同で行ったが、1 回だけの講座になった。  【取組方針】 その後の交流も進められるよう企画 していく。また、その他にも体力作り の講座を企画していく。	現状継続	教育総務 課
	事業目的	健康の大切さを理解し、体力作りを推進する。					
2-7-3	くまの・みらい交流館 管理運営事業【再掲】	事業名:多世代交流事業おもつき 大会、実施回数:1回、参加者:227人	30	B	【課題】 新型コロナウイルス感染状況等踏まえ、開催 方法等を検討する必要がある。  【取組方針】 開催方法等について検討を行い、衛 生・安全面に留意開催する。	現状継続	教育総務 課
	事業目的	すべての世代が参加できるイベント等を通じ、多世代・地域間の交流を図る。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなされない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実 施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直 して実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題	
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗が遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>B</b> <b>【分析・評価】</b> ○『多世代交流・国際理解の推進』、『地域活動への参画支援』では、新型コロナウイルス感染症の影響により不特定多数が参加するイベントは開催できなかったが、実施企画を工夫し、広島県地域通訳案内士に対する研修会としてイベント開催を実施した。これによりKPIである「イベント実施数」も前年度同水準を維持した。  <b>【課題】</b> ○『多世代交流・国際理解の推進』、『地域活動への参画支援』では、今後も、新型コロナウイルス感染症や別の感染症等の影響を受ける懸念がある。そのため、中止ではなく縮小や開催方法・企画の変更によりKPIである「イベント実施数」が目標を達成できるよう検討する必要がある。	

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針	<Action>
○『多世代交流・国際理解の推進』では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催方法・企画の工夫を行い、外国人に熊野町の文化などを伝える機会を設けるため、県や大学等との連携により、国際交流の機会を創出する。 ○また、外国人相談窓口に関する周知を強化し、外国人の方がより安心して生活できる環境整備に取り組む。	